

1 パブリック・コメントの実施状況

(1) 募集期間

平成17年7月11日(月)から平成17年8月10日(水)まで

(2) 公表方法等

県のホームページに掲載するとともに、県庁情報公開コーナー、各地方
県民相談室、教育事務所で自由に閲覧できるようにしました。

(3) 意見提出方法等

郵送、ファクシミリ、電子メールにより意見を募集しました。

2 意見の件数

38人 104件

3 提出された意見及びこれに対する考え方

(1) 県立高校再編整備計画(案)の内容に係る意見(86件)

意見の内容	意見に対する県の考え方
1 再編整備計画の趣旨等(6件)	
(1) 策定の趣旨	
再編整備を進める際には、将来構想の趣旨を踏まえ、長期的な視点に立って計画的に進めることが必要と思う。	1ページの「策定の趣旨」の項に記述しているように、本計画は、中長期的視点に立って策定した「県立高校将来構想」の方向性に沿って、県立高校の再編整備を年次的・計画的に進めるために策定するものです。
(3) 進め方	
高校の再編整備というこれまでにない取組みへの配慮から、計画は4年単位で策定し、2年毎に見直すという対応は大切だと思う。	1ページの「進め方」の項に記述しているように、生徒の入学状況の変化等に柔軟に対応しながら再編整備を進めるために、4年単位で策定し、2年毎に見直すこととしています。
実際に進める際には、子供たちへの早期の情報提供の観点も踏まえる必要があると思う。	1ページの「進め方」の項に記述しているように、計画は生徒の入学状況の変化等に応じて2年毎に見直しをすることとしており、各年度の実施分については入学定員発表前に公表しますが、中学生の進路選択に配慮し、できるだけ早期の情報提供に努めていきます。
これから高校に入学する生徒に対する配慮ということから、統廃合の決定・公表から実施までの期間を、少なくとも3年間として欲しい。	
2 再編整備の考え方(11件)	
(1) 再編整備の必要性	
少子化が進む中、生徒のニーズに応える特色ある教育を実施するため、再編整備が必要と思う。	1ページの「再編整備の必要性」の項に記述しているように、特色ある学校づくりを推進し、選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開など高校教育の質をより高めるためには、再編整備が必要と考えています。
(2) 再編整備の基本的な考え方	
学校が小規模になっている実態を見れば、社会に出ていく前段階の高校では4から8学級という学校規模は必要だと思う。	1ページの「再編整備の必要性」の項に記述しているように、特色ある学校づくりを推進し、選択幅の広い教育や多様な人格とのふれ合いなど、より質の高い高校教育の提供のためには、望ましい学校規模の確保が必要と考えています。

意見の内容	意見に対する県の考え方
3 学級を基準にした再編整備だけでなく、都市部の 4 学級以上の高校も再編する必要があると思う。	2 ページの「望ましい学校規模の確保を目指した再編統合」の項に記述しているように、再編整備にあたっては、学校の近接性や学習内容等を考慮しながら、小規模校同士だけでなく、小規模校と 4 学級以上の学校との再編統合についても検討します。
「はじめに小規模校切捨て、統廃合ありき」の方針に疑問を感じる。	学校規模については、開設科目数や部活動数などから 1 学年 4 から 8 学級を望ましい学校規模と考えており、特色ある学校づくりを推進し、選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開など、高校教育の質をより高めていくためには、再編整備が必要と考えています。
3 再編整備の方向性（13 件）	
（2）全日制課程の学科別比率	
大学等への進学を希望する子供たちのため、普通科の割合を高める必要があると思う。	3 ページの「全日制課程の学科別比率」の項に記述しているように、中学生の進路希望や高校卒業後の進路状況等を踏まえ、志願状況を見ながら普通科系の募集定員の比率を高める方向で検討します。
（3）全日制課程	
学校の小規模化が進んでいる現状から、再編統合により学校規模の拡大を図り、これから高校に入学してくる子供たちが夢を持てる新しい学校づくりが必要と思う。	3 から 6 ページの「全日制課程」の項に記述しているように、再編整備に取り組む中、特色ある学校づくりを進め、進路希望等に応じた選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開など、高校教育の一層の充実を図ります。
（4）定時制・通信制課程	
定時制課程に学ぶ生徒の実態に応じ、単位制の導入や昼間部の設置などについての検討が必要と思う。昼間部は、県央部に設置することが望ましいと思う。	6 ページの「定時制・通信制課程」の項に記述しているように、生徒の実情を踏まえ、より柔軟な教育システムの構築を図るとともに、昼間部については地域バランスも考慮して増設することを検討します。
定時制では、学校規模が小さく、先生の数も少ないので、近隣の学校間で統合し規模を拡大すれば、先生の数も増え、よりきめのこまかい指導ができると思う。	6 ページの「定時制・通信制課程」の項に記述しているように、生徒の志願状況や交通の利便性等を勘案し、近隣の学校間で段階的な統合を図るなど、地域バランスに配慮した適切な配置を検討します。
（5）新たに設置する分校	
新たに設置する分校では、様々なかたちで本校と交流するなど、分校の教育活動が充実するような仕組みの工夫が必要と思う。	6 ページの「新たに設置する分校」の項に記述しているように、本・分校間での教員の交流や学校行事等の合同実施など、本校との連携・交流による新たな教育活動の展開に努めます。
（6）通学区域	
生徒達が自分に適した学校を主体的に選択できるよう、普通科の学区外枠を拡大して学校の選択幅を広げる方向が適当と思う。	6 ページの「通学区域」の項に記述しているように、学区外枠を越えての志願がある現状から、学区外枠を拡大する方向で検討します。
全ての県立高校が選択肢となるよう、県下全域を通学区域にすることも必要と思う。	また、学区外枠拡大後の生徒の入学状況やニーズなどを踏まえて、計画期間内には通学区域を県下全域とする方向で検討します。
学区外枠の拡大は、学区撤廃につながり、学校間競争の激化や格差の拡大が懸念される。	学区外枠の拡大は、生徒が行きたい学校をより主体的に選択できるようにすることを主眼として取り組むものです。

意見の内容	意見に対する県の考え方
4 再編整備の推進（11件）	
幅広く意見を聞き、統合による学校づくりについて示して欲しいと思う。	御意見を踏まえ、10ページの「計画の進め方」の項に、計画の推進にあたっては、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見も聞きながら、具体的な学校づくりについて検討してこれに取り組む旨を追加して記述しました。
特色のある二つの学校のカリキュラムが合わされ維持されるのであれば統合も考えられる。今回の案では先が見えないので、もっと地元や中学生の保護者の意見など幅広く意見を聞いて案を実行して頂きたい。	
少子化は深刻なので、子供たちのことを第一に考え、できるだけ早く再編整備を実施する必要がある。	子供たちにできるだけ早く、より質の高い高校教育を提供することが大切と考えており、7ページの「再編整備実施時期の検討」の項に記述しているように、再編整備の実施時期については、地域毎の中学校卒業生数の推移などを踏まえるとともに、再編統合による特色ある学校づくりの推進などの観点から総合的に検討します。
【平成18年度～平成21年度計画（案）】	
1 再編統合（30件）	
【商業高校と工業高校の統合に係る意見】	子供たちにできるだけ早く、より質の高い高校教育を提供することが大切と考えており、11ページに記述のとおり、平成18年度に実施するよう計画しており、中学生の学校選択に配慮し、早期の情報提供に努めます。
子供たちが他の分野の学習ができるなど、良い点がたくさんあるので、できるだけ早く決定し、中学生に周知することを望む。	
現在、正式に決定されていないことなどから、来年4月の統合は延期すべきだと思う。	
【安下庄高校と久賀高校の再編統合に係る意見】	子供たちにできるだけ早く、より質の高い高校教育を提供することが大切と考えており、11ページに記述のとおり、平成19年度から21年度間の再編統合を計画しているところです。今後の学校づくりについては、10ページの「計画の進め方」の項に記述しているように、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見も聞きながら検討を進めるよう考えています。
2学級が維持できる間、統合を延期して頂きたいと思うが、どうしても統合という状況となれば、生徒の通学の利便性などを考慮した場所の決定を望む。	
【大津高校と水産高校の統合に係る意見】	御意見を踏まえ、10ページの「計画の進め方」の項に、計画の推進にあたっては、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見も聞きながら、具体的な学校づくりについて検討してこれに取り組む旨を追加して記述しました。
具体的な学校づくりについて広く意見を聞いて検討を進め、形や中身が見えるようにすることを望む。	
校風や伝統などを踏まえるとともに、両校の現状等を十分考慮して再検討を望む。	異なる学科を持つ学校の再編統合により、選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開ができると考えており、計画の推進にあたっては、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見も聞きながら、具体的な学校づくりについて検討してこれに取り組むこととしています。

意見の内容	意見に対する県の考え方
<p>【その他の意見】</p> <p>柳井工業高校と田布施工業高校は近距離なので、統合を検討してはどうか。</p> <p>水産高校と下関中央工業高校（造船科がある）と再編統合を検討してはどうか。</p> <p>生徒が複数の普通科高校から選択できるように、大津高校と萩高校は単独の普通科高校として維持することを望む。</p> <p>大津高校については、比較的似た環境にある豊北高校との統合も視野に入れながら、学区外枠を拡大し、単独の普通科高校として維持してはどうか。</p> <p>日置農業高校と水産高校を統合し、水産・農業・進学3コースの総合学科高校の設置を検討してはどうか。</p> <p>大津高校と水産高校に日置農業高校を含めた3校の再編統合を検討する必要がある。</p>	<p>今後、本計画に沿って、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見も聞きながら、具体的な学校づくりの検討を進めることとしています。</p>
<p>2 再編統合が困難な学校と分校化（5件）</p>	
<p>生徒の通学の便を考え、分校化も含めて検討を進め、本・分校の交流などにより教育活動を充実させる工夫を考えていけばいいと思う。</p> <p>独立校の方が生徒の募集や教育活動を行いやすいと考えるので、分校化については再検討を望む。</p>	<p>6ページの「新たに設置する分校」の項に記述しているように、分校化にあたっては、本・分校間での教員の交流や学校行事等の合同実施など本校との連携・交流により教育活動の充実に努めます。</p>
<p>あまり配慮ばかりしていると分校が増えていくので、条件が整えば、小規模校は再編統合することも必要と思う。</p>	<p>再編統合を基本としますが、10ページの「再編統合が困難な学校と分校化」の項に記述しているように、生徒の通学状況等を総合的に勘案して再編統合が困難な学校については分校化を行います。</p>
<p>3 分校の募集停止（6件）</p>	
<p>高校段階は社会に出る一歩手前であり、ある程度の学校規模の中で様々な人格とふれ合うことが大切と思うので、現在の分校について、生徒の入学状況を踏まえて募集停止を進める必要があると思う。</p>	<p>10ページの「分校の募集停止」の項に記述しているように、生徒の入学状況や今後の入学者数の見込みを見極めた上で、生徒募集の停止を行います。</p>
<p>交通機関の便数が少ないことや経費負担増などの事情を考慮して、生徒数が少なくても存続させる必要があると思う。</p>	<p>再編整備の推進にあたっては、通学の便宜が図れるよう関係交通機関等への働きかけや奨学金制度の周知・拡充などの支援について検討します。</p>
<p>中学校に入学した時点で志望高校の計画を立てる生徒が多いので、募集停止は3年前に公表すべきと考える。</p>	<p>10ページの「分校の募集停止」の項に、実施時期についてできるだけ早期の情報提供に努める旨を追加して記述しました。</p>

意見の内容	意見に対する県の考え方
5 計画の進め方（4件）	
<p>今後の高校の新しい形が少しでも早く分かることが必要であり、計画の方向性が決まれば、具体的な形を早く検討し、決定・公表して中学生に周知する必要がある。</p>	<p>御意見を踏まえ、10ページの「計画の進め方」の項に、計画の推進にあたっては、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見も聞きながら、具体的な学校づくりについて検討してこれに取り組むとともに、その検討状況や生徒の入学状況の変化等を踏まえて、2年毎に見直す計画において、必要に応じてその実施時期・内容等に反映させる旨を追加して記述しました。</p>
<p>再編・統廃合は十分時間をかけて検討し、地元の見解や伝統を重視した決定がなされることを希望する。</p>	<p>子供たちにできるだけ早く、より質の高い高校教育を提供することが大切と考えており、実施時期については、地域毎の中学校卒業生数の推移などを踏まえるとともに、再編統合による特色ある学校づくりの推進などの観点から総合的に勘案して検討したものです。</p>
<p>今回の計画案については、あまりにも性急な再編統合の案であり、賛同できかねる。</p>	

(2) その他の意見（18件）

これらの他に、次のような御意見もありました。今後の参考にさせていただきます。

計画策定の進め方に係る意見（8件）
<p>パブリックコメントによる意見募集だけでなく、該当する学校の教職員はもとより、生徒や保護者、同窓会、地域社会などと十分に協議し、「県立高校再編整備計画」の策定を進められることを望む。</p>
教育条件の整備に係る意見（4件）
<p>再編整備する学校への県の委託による通学バスの配置やJRへの働きかけによる通学の便の確保が必要と思う。</p>
<p>現在、地元自治体が高校や高校生に対して行っている、通学バスの運行、奨学金制度など県に移管して継続する必要がある。</p>
<p>古い校舎の所も多いので、予算を効率的に使う立派な施設の整備を望む。</p>
個別の学校に対する意見（2件）
<p>山口地域には工業高校がないので、再編統合を検討する中、山口地域への工業高校の新設についての検討を望む。</p>
<p>下関西高校、下関中央工業高校、下関商業高校が隣接しているので、統合による総合学科設置の検討を望む。</p>
その他の意見（4件）
<p>高校の再編整備とともに、高校入試の制度の見直しを望む。</p>
<p>高校を中退する子供がたくさんいるという現状への対策も考える必要がある。</p>
<p>同窓会などは、これからの子供たちのことを考え、統合することによって、新たな伝統や特色を作っていくことを応援していくべきと思う。</p>
<p>子供たちの学習権・教育の機会均等と地域の学校を守って欲しい。</p>